



撮影 齋藤克己
(医療情報科医学写真
室) 2014.5.29

静岡市立静岡病院の現状

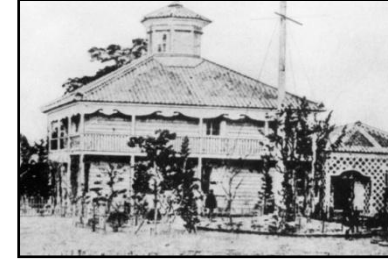
駿府城公園から静岡病院を望む
手前は2014年4月、160年ぶりに
復元された坤櫓（ひつじさるやぐら）

説明の内容

- 1 当院の概要・沿革
- 2 基本理念・基本方針
- 3 診療内容の一部紹介
- 4 地域医療連携
- 5 地方独立行政法人としてあらたな飛躍を目指して

静岡市立静岡病院の歴史

明治2年	追手町四ツ足御門外に藩立駿府病院として開設
明治9年	公立静岡病院として屋形町で開院(県立)
明治15年	県立から郡立(有度・安倍郡)に移管
明治22年	静岡市制施行に伴い静岡市に移管
明治38年	市立静岡病院と改称
昭和20年	戦災により焼失
昭和21年	隣保館(巴町59番地)を改築して仮病院とする
昭和26年	追手町10番93号(現在地)に移転
昭和49年	本館(旧東館)竣工
昭和60年	病院建設工事施工(4か年継続事業)
昭和62年	第1期西館高層棟完成
平成元年	第2期低層棟、立体駐車場、東館改修工事完成
平成2年	オープンシステム(開放型病院)実施
平成7年	オーダリングシステム稼働
平成15年	新静岡市にて開設
平成15年	(財)日本医療機能評価機構の病院機能評価認定審査に合格
平成15年	地域医療支援室を設置
平成18年	地域医療支援病院の承認を取得
平成19年	地域がん診療連携拠点病院の指定
平成19年	肝疾患診療連携拠点病院の指定
平成20年	東館竣工
平成20年	電子カルテシステム稼働
平成20年	(財)日本医療機能評価機構の病院機能評価認定更新(Ver.5)
平成21年	D P C対象病院
平成22年	病院専用駐車場竣工



明治9年

昭和36年



平成元年

平成20年





特色ある、高度な医療

医療が結ぶ
ひと・地域との交流拠点

静岡市立静岡病院の概要

創立:1869年
(藩立駿府病院)

病院概要

- 診療科 29科
- 病床数 500床
- 感染症病床 6床

- 医師数 116人
- 看護師数 446人
- コメディカル 108人

(平成26年10月1日)

内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、血液内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、精神科、外科、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科

薬剤科 26、検査技術科 33、放射線技術科 24、リハビリテーション技術科 8、臨床工学科 8、栄養科 4、視能訓練士 2、精神保健福祉士 1、心理療法士 1、医療映像技士 1

診療実績 (2013年度)

外来 1,140人/日

入院 470人/日



延入院患者数:171,702人/年
平均在院日数:13.3日/年
総手術件数 4,688件/年

紹介率 70.9%
逆紹介率 80.1%
病床利用率 94.1%

患者数の推移

(単位:人)

	22年度	23年度	24年度	25年度	対前年度比
入院患者数 (内、市外患者数)	178,715 (25,907)	177,579 (26,000)	175,677 (26,289)	171,702 (23,485)	△2.3%
外来患者数 (内、市外患者数)	287,128 (31,922)	285,039 (31,738)	284,324 (31,341)	278,196 (29,709)	△2.2%
救急患者数	13,869	14,502	14,658	13,867	△5.4%

(単位:%)

	22年度	23年度	24年度	25年度	対前年度比
病床利用率	97.9	97.0	96.3	94.1	△2.2ポイント

医療職の推移と見込み

(単位:人)

	23年度	24年度	25年度	26年度	対前年度比
医師数	102	106	111	116	4.5%
看護師数	423	423	431	452	4.9%

※4月1日時点

(単位:人)

	26年度	27年度	28年度	29年度	合計
7対1看護体制に向けた増員計画	20	20	20	30	90

(単位:人)

	24年度	25年度	26年度	合計
病棟薬剤師配置に向けた増員状況	1	2	8	11

収入及び支出の推移

(単位:百万円)

		22年度	23年度	24年度	25年度	対前年度比
収入	病院事業収益	18,339	18,924	19,021	19,178	157
	医業収益	17,089	17,708	17,877	18,053	176
	医業外収益	1,250	1,216	1,144	1,125	△ 19
支出	病院事業費用	18,238	18,380	18,688	18,638	△ 50
	医業費用	17,027	17,526	17,871	17,787	△ 84
	医業外費用	1,211	854	817	851	34
純損益		100	544	333	540	207

説明の内容

- 1 当院の概要・沿革
- 2 基本理念・基本方針
- 3 診療内容の一部紹介
- 4 地域医療連携
- 5 地方独立行政法人としてあらたな飛躍を目指して

－基本理念－

- ・開かれた病院として、市民に暖かく、質の高い医療を提供し、福祉の増進を図ります。

－基本方針－

- (1) 患者さんを主体とし、患者さんにとっての最善の全人的医療を実践いたします。
- (2) 静岡市の基幹病院として、高度専門医療を提供し、その向上を常に図ります。
- (3) 市民の安全を守るため、二次救急医療、救命救急医療、災害時医療を提供します。
- (4) 地域医療の充実のため、病診連携、病病連携、保健福祉機関との連携を図ります。
- (5) 職員は、研修、研究、教育を通じて医療水準の向上を図ります。

静岡市立静岡病院のキャッチコピー

静岡が欲しがる病院！

II

市民に頼られる病院

診療所に必要とされる病院

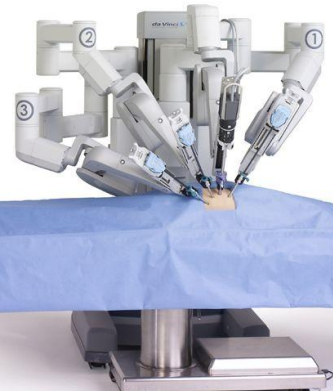
職員が働きたい病院

説明の内容

- 1 当院の概要・沿革
- 2 基本理念・基本方針
- 3 診療内容の一部紹介
- 4 地域医療連携
- 5 地方独立行政法人としてあらたな飛躍を目指して

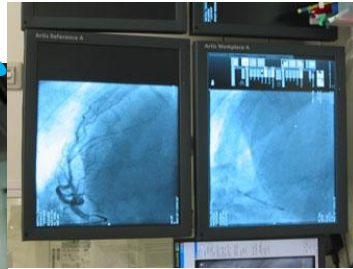


県内初のハイブリッド手術室の稼働が始まりました



県内市立病院初の遠隔操作型内視鏡下手術装置(ダヴィンチ)が導入されました

高度専門医療の提供をします



県内屈指の重装備



CCU/ICU 8床



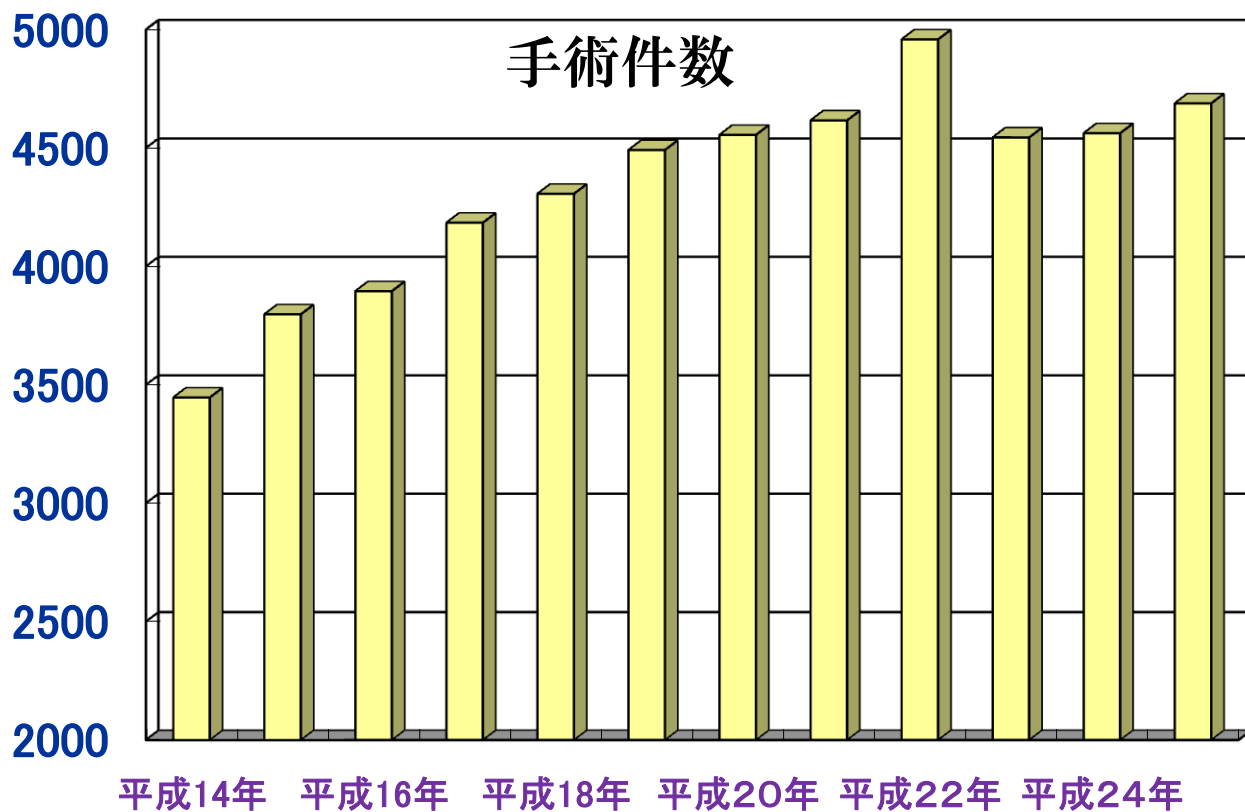
HC12床



GHCU 8床



手術件数年次推移

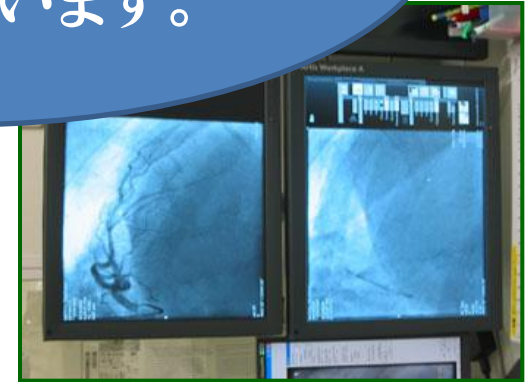


心臓・循環器系の医療
には実績と高い評価を
いただいています。

心臓血管外科(2014年実績)

手術総数 789件

開心術 355件



心血管カテ室 3室

**心臓カテーテル検査
1,931件**

**冠動脈インターベンション
504件**

救急医療実績！

救急外来患者数

13,867名

救急車搬送患者

5,689名

心肺停止状態搬送患者数

約170名

平成25年度

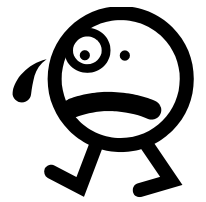
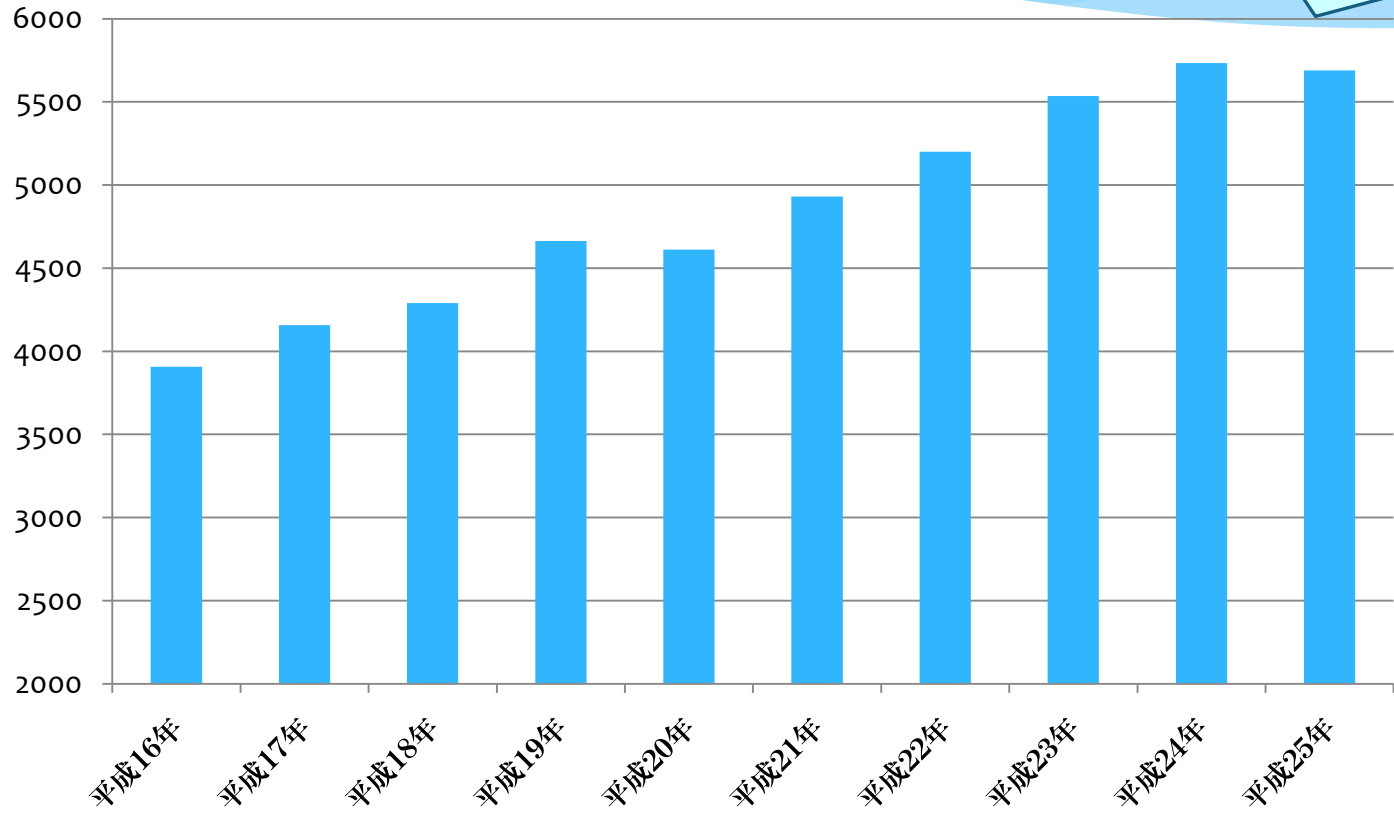


救急外来搬送患者数年次推移

スタッフの努力の結晶です

搬送患者も増加の一途です

件数

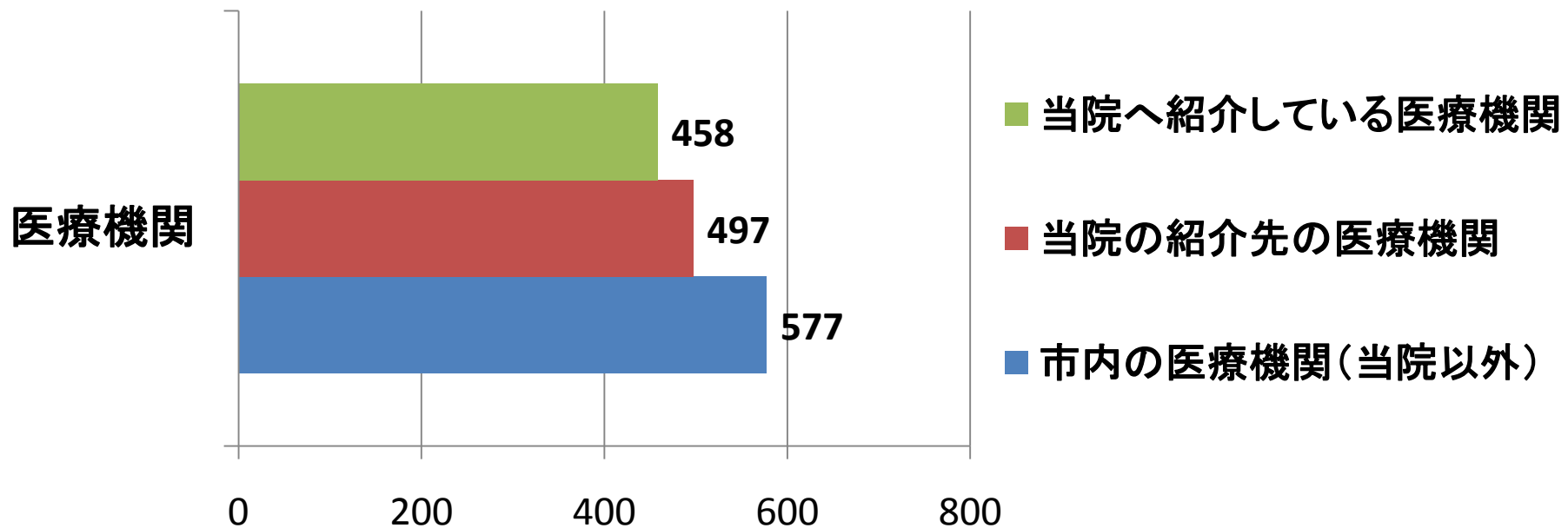


説明の内容

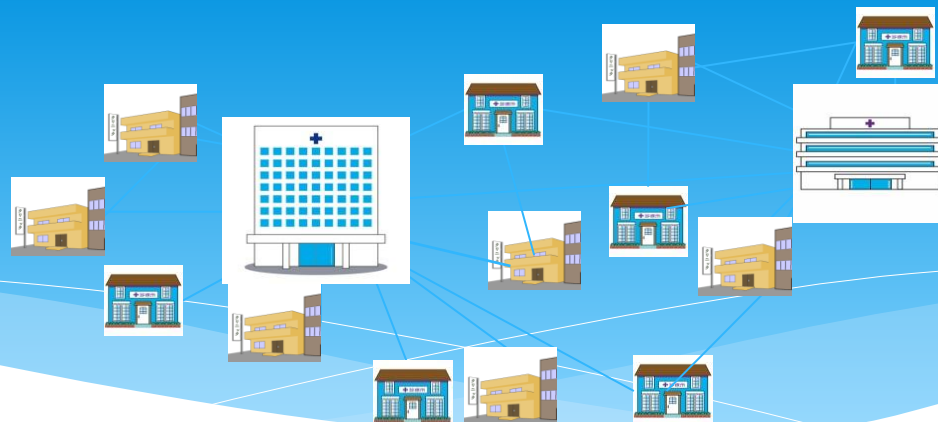
- 1 当院の概要・沿革
- 2 基本理念・基本方針
- 3 診療内容の一部紹介
- 4 地域医療連携
- 5 地方独立行政法人としてあらたな飛躍を目指して

静岡市の病診連携について

- 静岡市内には、578の医療機関があります。
- そのうち当院のような入院施設を持った急性期病院は、9か所。その他の570か所は、診療所やリハビリテーション病院等になります。



患者さんにとって病院は・・・



- 病院のメリット

- 救急医療、先端医療、通常の医療すべてにわたって充実。

- 24時間対応

- 病院のデメリット

- 時間がかかる(待ち時間、検査時間等)が、診察時間が短い

- 家から遠い

患者さんにとって診療所は・・・



- 診療所のメリット
 - 近くにある。
 - 待ち時間が短い
 - 同じ医師に継続して診てもらえる
- 診療所のデメリット
 - 救急医療に対応しにくい(緊急時に医師が不在のことがある)
 - 高度な医療機器がない

病診連携とは

- 病院と診療所が、それぞれの役割、機能を補完して、連携しながら、効率的で効果的な医療を提供することが、**病診連携**です。
- 病診連携の中心は、かかりつけ医の先生です。かかりつけ医は、日頃の患者さんの健康、病気について気軽に相談に応じてくれる身近な診療所の先生になります。
- かかりつけ医は患者さんの健康状態や病状を管理をしますが、状態が悪くなったとき、高度な検査や入院治療が必要な病気やけがの場合、病院に紹介し、その後は、病院の医師と相談しながら治療をすすめていきます。

病診連携の流れ

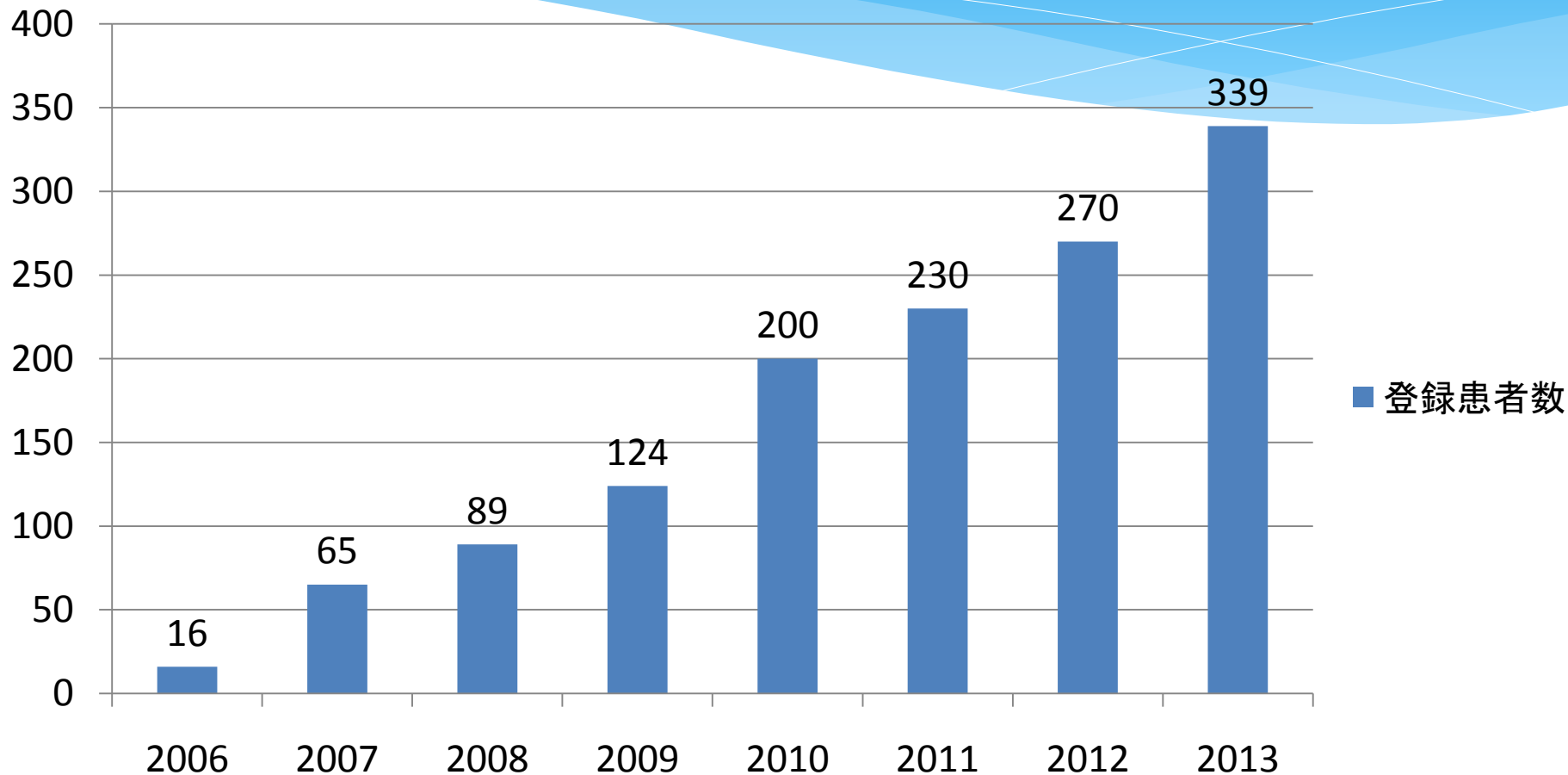
〔イーツーネット〕

- ・ 「イーツーネット」は、2001年、静岡市静岡医師会と静岡市立静岡病院との間で2人の主治医制の病診連携システムとして運用を開始しました。
- ・ 現在、脳卒中、がん、虚血性心疾患(IHD)、心房細動(AF)、閉塞性動脈硬化症(PAD)、慢性腎臓病(CKD)、糖尿病、腰痛症、肝炎のネットワークがあり、連携時に独自の連携パス票で、患者情報を共有しています。

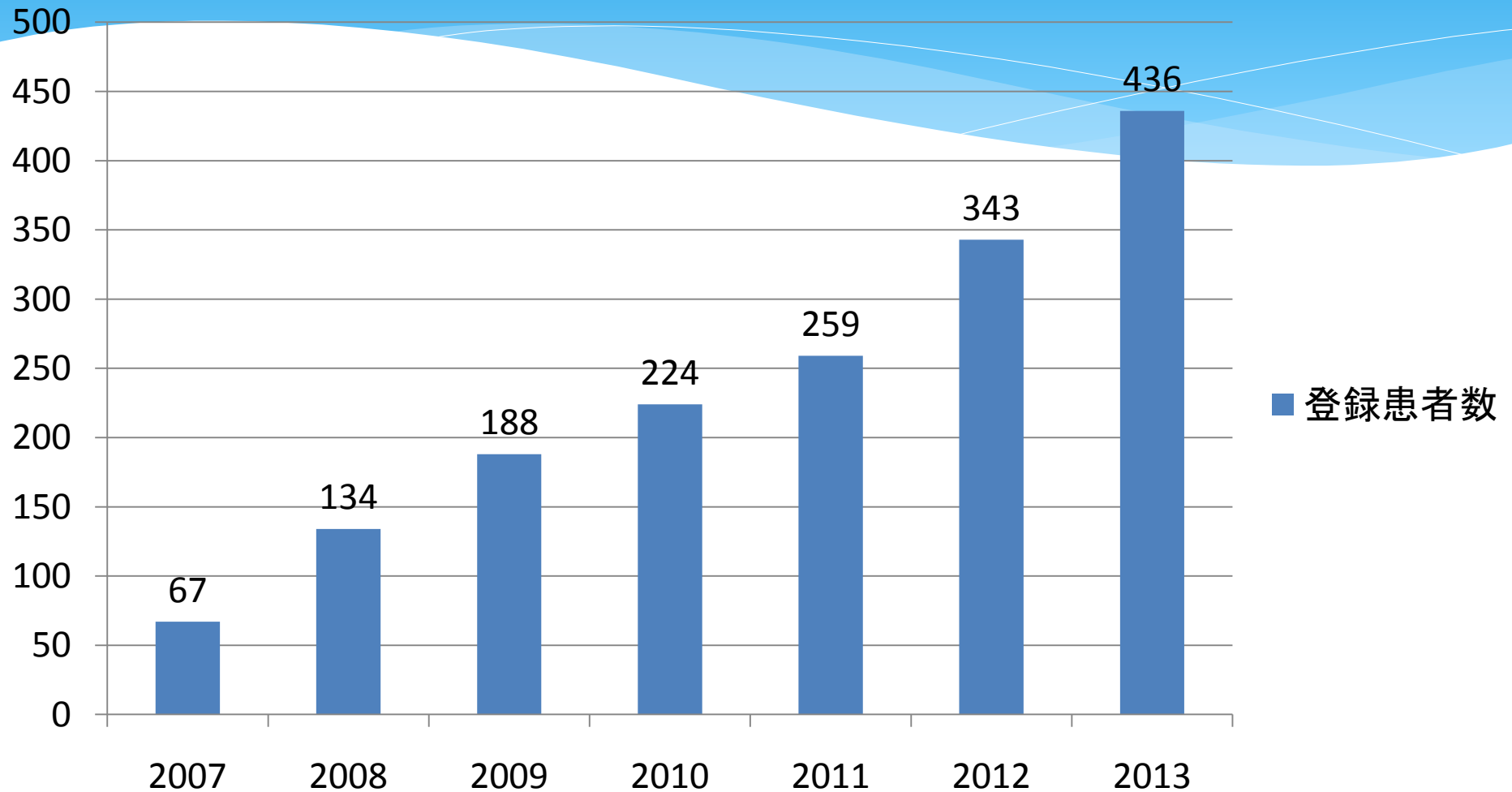


連携パス票を紹介状
とともに送り情報を共
有する。

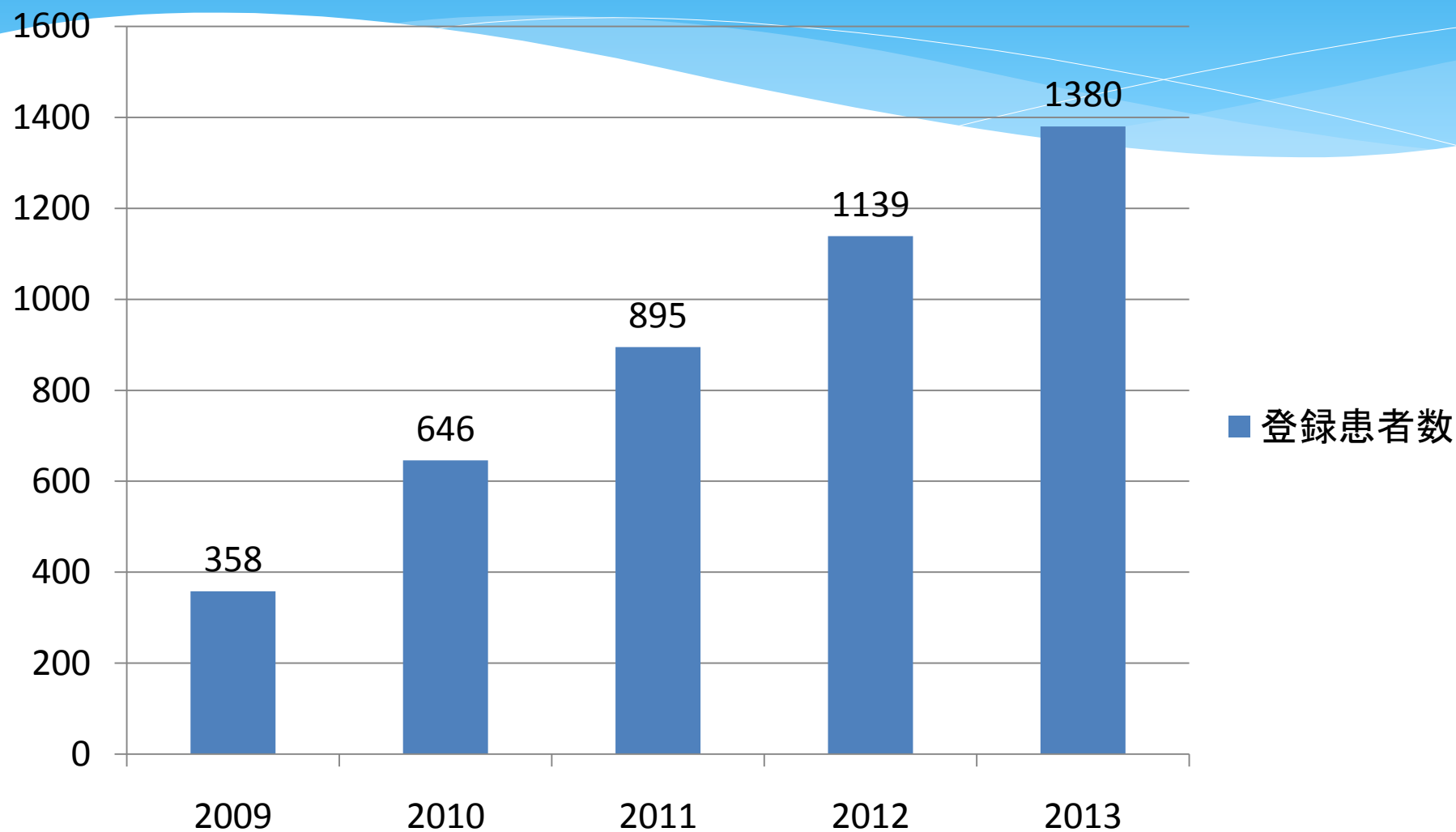
イーザーネットへの取り組み(2013年度) がん術後パスシステム登録患者



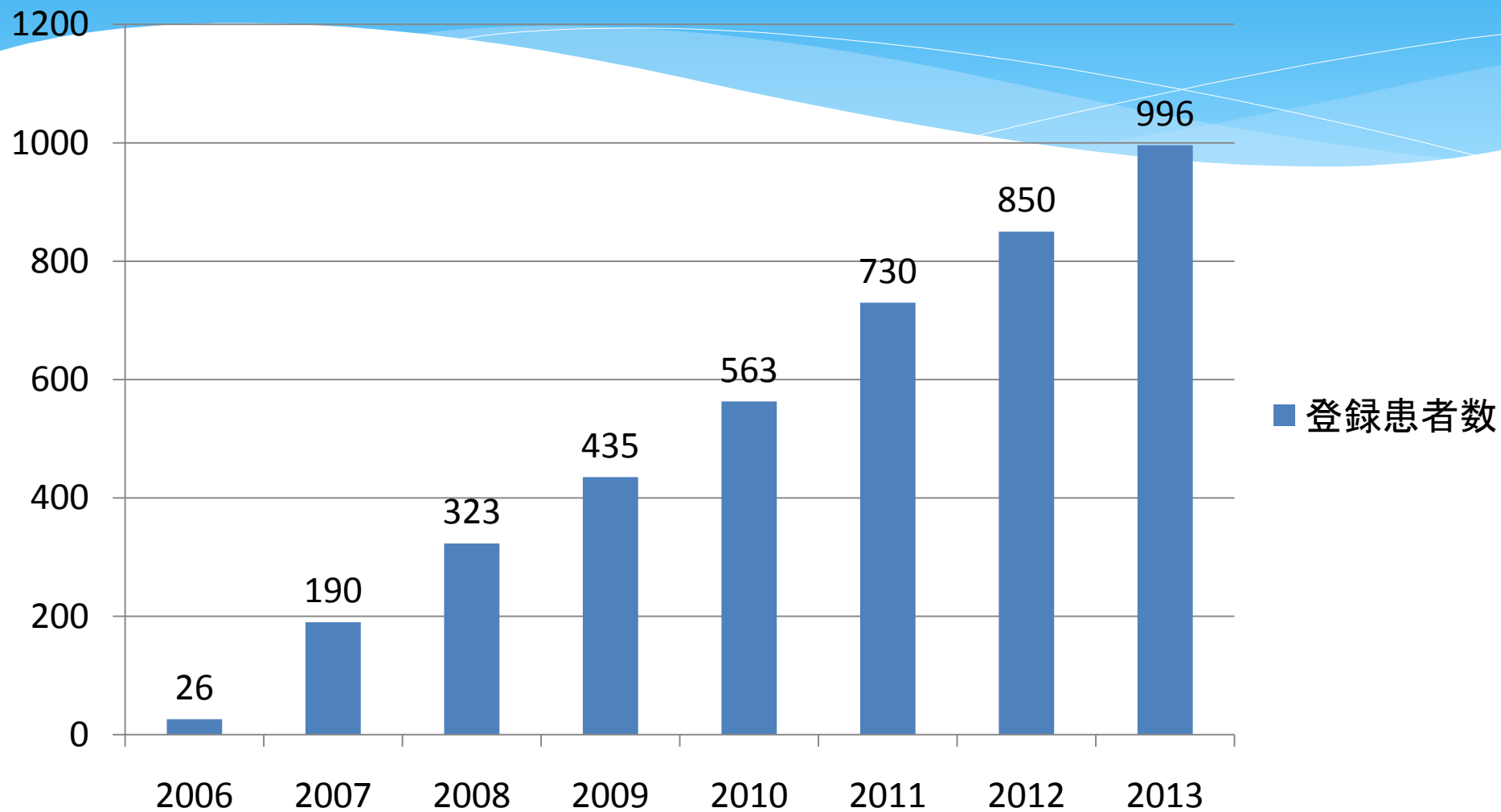
脳卒中医療連携患者



虚血性心疾患医療連携患者



心房細動医療連携患者数



病診連携の推進

- 診療所と病院の機能分化の考え方は、国の政策とも合致し、全国的に推進されてきています。
- しかし、退院後も病院の外来に受診を望む患者さんが多く、中には診療所に紹介されると、病院に見捨てられたと感じる患者さんもいました。
外来患者が、多いと病院の医師が入院治療に専念しにくくなります。
- そういった患者さんの不安を解消するため、静岡病院では、2004年から連携安心カードを作成しました。

病診連携の推進

連携安心カード (オレンジカード)

- 病院と診療所の主治医との間で医療情報を共有しておき病診連携患者の容態が急変した場合に、すみやかに適切な医療を行うことができるようにします。
- 診療所・病院はカードを発行することにより、紹介・逆紹介患者に安心感を与えることができ、患者を中心とした病院と診療所の連携医療を継続することができます。

いざ！というときの安心のために

「連携安心カード」(オレンジ救急カード)
を持ちませんか？

このカードは、静岡市立静岡病院と静岡市静岡医師会の診療所で患者様の情報を共有し、病状急変時にはいつでも病院にかかれるようにするものです。



「連携安心カード」を希望する患者様は主治医にお申し出ください。

社団法人 静岡市静岡医師会
静岡市立静岡病院

説明の内容

- 1 当院の概要・沿革
- 2 基本理念・基本方針
- 3 診療内容の一部紹介
- 4 地域医療連携
- 5 地方独立行政法人としてあらたな飛躍を目指して

静岡市立静岡病院は平成28年4月
静岡市初の地方独立行政法人として
あらたな飛躍を目指しています。

•最新かつ安全、良質な医療の提供

— 県都、政令指定都市にふさわしい医療

•公平な医療と公平な情報発信

— すべての市民に対する公平な医療・公平な情報発信

静岡市の特性を考慮した 病院&医療事業

- 県都、政令指定都市にふさわしい都市インフラとしての病院&医療事業が将来にわたって必須
- 市中心部でも、市北部に広がる自然豊かな中山間地でも、エリアにふさわしい医療情報の発信をする
- 今後の急激な社会変化—少子高齢化社会に求められる活動を行う

「地域と人」に交流の輪を 広げる

もっと「外」に出て行こう
もっと「人」と交流しよう

市中心部における事業

静岡市民「からだ」の学校事業創設

- 第1回 H26.7.13 グランシップ
- 第2回 H27.2.11 グランシップ
- 第3回 H27.6.21 しずぎんユーフォニアホール
- 第4回 H27.10.25 グランシップ

静岡市民「からだ」の学校 第1回 ～がんについて学ぼう～

平成26年7月13日(日)
午後2時から、
第1回静岡市民「からだ」の
学校をグランシップで開催し
ました。(参加者300名)。
市民の皆様、「からだ」を
理解していただき、すこやかな
毎日を過ごすための情報
発信をすることを目的として
第1回目は“がん”をテーマ
にとりあげました。



市北部地域で開催

静岡市民「からだ」の学校 草の根講座



- 第1回 葵区梅ヶ島地区 H26.10.16開催
- 第2回 葵区井川地区 H26.11.26開催
- 葵区清沢地区 H27. 5月予定
- 葵区大川地区 H27. 5月予定

•

地域の生涯学習交流館を中心として 「からだ」の学校草の根講座



医療人を目指す青少年育成事業

- とくに次世代の医療をになう青少年に対する情報発信
- 市内小中学校、高等学校生を対象
- 各学校、市教育委員会と密に連携

平成26年度静岡市立静岡病院 職場体験受入リスト

始	至	学校名	受入科	受入人数	
5月20日	5月21日	竜爪中学校	医療技術部	2	
5月20日	5月21日	清水第七中学校	医療技術部	2	
5月27日	5月28日	安東中学校	医療技術部	4	
6月3日	6月4日	長田西中学校	医療技術部	2	
8月22日	8月22日	静岡市立高等学校科学探究科	医局・看護部・薬剤部	12	
11月25日	11月27日	安倍川中学校	看護科	1	
11月25日	11月26日	安倍川中学校	医療技術部	2	
総受入日数	14日	受入校数	6校	受入人数	25名

始	至	主催	受入科	受入人数
8月25日	8月25日	県内高校(主催:県教育委員会等)	医局	49名

平成27年度小中学校対象事業 「未来の医療をにならう君たちに」セミナー

- 静岡市教育委員会の全面的支持、連携
- 開催主体：静岡市立静岡病院／静岡市教育委員会ほか
- 場所：静岡市立静岡病院
- 時期：2015年度、学校の夏季休業中の1日
3時間程度(確定)
- 募集対象人数：小学校高学年～中学生、30名程度
- 内容：医療・病院に関する体験型学習主体

静岡病院体験研修セミナー
「ようこそ未来の医療人たち」
FOR 静岡市立高校科学探究科

- 共催
- 静岡市立静岡病院
 - 静岡市立高校
 - 静岡市教育委員会

単なる職場体験



8月22日(金)

静岡病院体験研修セミナー 「ようこそ未来の医療人たち」

FOR 静岡市立高等学校科学探究科
対象者12名+オーストリア人学生1名

静岡市立静岡病院
静岡市立高校
静岡市教育委員会

の共催事業へ

文部科学省の推進する先進的な取り組み
SSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)
モデル事業へ



8/22 2014 (金)

9:00-16:20

場 所: 静岡市立静岡病院

参加者: 静岡市立高等学校 科学探究科

文部科学省の先進的な取り組みであるSSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)のモデル事業として、静岡市立静岡病院、静岡市立高等学校、静岡市教育委員会が一体となり、医療職を目指す高校生に病院の“実際”を体験していただきます。

主催/静岡市
静岡市立静岡病院 静岡市立高等学校 静岡市教育委員会

プログラム

9:00	開会あいさつ 静岡市立静岡病院 病院長 宮下 正 静岡市教育委員会 教育長 高木 雅宏 静岡市立高等学校 校長 志村 剛和 オリエンテーション
9:15	ようこそ未来の Medical Professional たち 病院長 宮下 正
9:30	医師の仕事とは 講師 教育研修管理室科長・呼吸器内科 山田 孝
10:00	薬剤師の仕事とは 講師 薬剤部長 勝山 徹
10:40	病院見学① 手術室 血管造影室 病棟
13:00	シミュレーターを使った医師体験 心臓蘇生 気管内挿管 超音波検査 切開縫合の実技
14:20	病院見学② 救急治療室 薬剤部
15:30	医師・薬剤師との懇談会

お問い合わせ先/静岡市立静岡病院 病院総務課 総務係 〒420-8630 静岡県静岡市葵区追手町 10番93号 TEL 054-253-3125 FAX 054-253-3177

能力向上のためのシミュレーションラボルーム



内視鏡超音波練習機器

腹腔鏡手術用
トレーニングボックス



血管カテーテル練習機器

上達すると



折鶴が折れます



救命救急 (ICLS) 講習会



中心静脈 (IVH) 講習会

**最新かつ安全・良質な医療の提供
— 県都、政令指定都市に
ふさわしい医療技術**

実例のご紹介

- 単孔式による腹腔鏡手術
- 3次元立体視腹腔鏡手術
- ダビンチによる前立腺全摘術(ロボット内視鏡手術)
- ハイブリッド手術室(高機能・高画質X線透視装置
+手術機能)
- 経皮的な大動脈弁留置術(TAVI、タビと呼びます)

静岡市立静岡病院の新しい取り組み

【単孔式腹腔鏡手術】

腹腔鏡手術時において、従来はカメラや鉗子などの複数の穴をからだに空けて手術していたが、おへそに少しだけ大きめの穴をあけてすべての器具をそこで操作する手術。

【メリット】

- ・ 従来の手術より傷口が目立たない
- ・ 患者さんの負担が少ない

【デメリット】

- ・ 手術の技術的な難易度は高い

静岡市立静岡病院の新しい取り組み

【3次元立体画像による腹腔鏡手術】

腹腔鏡手術時において、従来カメラによる平面的な画像では、遠近感がなく平面的な画像を特殊な腹腔鏡により克服しようとするものです。

【メリット】

胃・胆のう・鼠径ヘルニア手術などで、縫合・結紮（糸を結ぶ）など奥行き感が必要とされる場面での恩恵は大きい

静岡市立静岡病院の新しい取り組み

ロボット支援手術（手術支援 ロボット Da Vinci）

腹腔鏡手術の一種です。従来の腹腔鏡手術の利点をそのまま生かしつつ従来の腹腔鏡手術の欠点、

- 操作が特殊で技術習得が難しい
 - 鉗子の自由度が低い
 - 2次元視野のため遠近感なく平面的
- これらの欠点をロボットアームで操作することにより克服するものです



静岡市立静岡病院の新しい取り組み

ハイブリッド手術(血管撮影装置を組み合わせた手術)

【メリット】

- 画像支援による治療精度の向上
高画質画像・3D画像の活用
- 安全性の向上
緊急時の対応が容易
- 治療戦略の拡大
インターベンション手技と外科的手術を融合したハイブリッド治療への対応



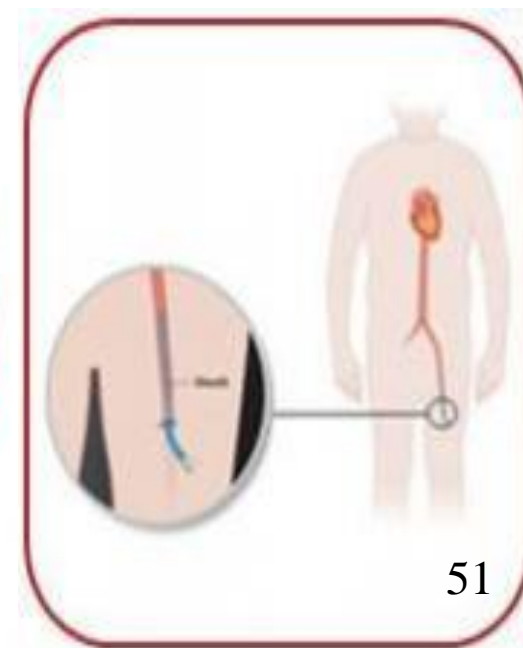
静岡市立静岡病院の新しい取り組み

【経皮的動脈弁留置術 (TAVI)】

Trans catheter aortic valve implantation

手術リスクの高い動脈弁狭窄でカテーテルによる動脈人工弁(生体弁)植え込みを行います。

開心術に耐えられない人にも治療が行えます。



ご清聴ありがとうございました。